

■新・稲沢市民病院竣工式



敷地面積約35,000㎡、延床面積約27,000㎡、最高高さ30.3m、地上6階、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(免震構造)、駐車台数620台。**病床数は320床**(内HCU10床(ハイケア・ユニット:ICUよりもやや重篤度の低い患者用))。**建設総事業費約146億円**(土地購入費約20億円、工事等約80億円、医療機器等約34億円、移転費用等約2億円、解体工事費10億円程度見込)、財源内訳は一般会計繰入約46億円、企業債約84億円、国・**県支出金**約16億円。



病室(4床)



病室(個室)



廊下(右手ナースステーション)



手術室



術中画像装置オーアーム



CT(コンピュータ断層撮影)装置



X線血管撮影装置



マンモグラフィー装置

■稲沢市総合防災訓練



8月31日、稲沢市総合防災訓練が平和中央公園他で実施されました。午前8時のシェイクアウト訓練を皮切りに関係機関や地元の皆さんに参加を頂き各種訓練が行なわれ、平和町プールでは初めての住民参加による救命ボート避難訓練を実施、鈴木が所属している防災ボランティア稲沢の皆さんは社協他の方と災害ボランティアセンター設置訓練に参加しました。

翌9月1日には県のシェイクアウト訓練が実施され、10月末には県と名古屋市の総合防災訓練で帰宅困難者対策等の都市型防災訓練が実施されます。



愛知県消防操法大会in小牧で台風11号が接近する悪天候の中、稲沢市代表の**第6分団(大里地区)**が**見事6位入賞**を果たしました。



鈴木純事務所 稲沢市稲島11-24

TEL 24-6600 FAX 23-0791



愛知県議会報告 J-PRESS

民主党愛知県議員団

責任者:鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告は民主党愛知県議員団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

愛知県 交通安全条例制定!

10月10日に閉会した愛知県議会9月定例会では、一般会計78億5千万円、企業会計40億円の補正予算関係、交通安全条例や再生可能エネルギー等導入推進基金条例の制定などの条例関係13件、教育委員会委員の選任などその他の議案17件が可決、同意されました。議会初日には知事から新日鐵住金(株)名古屋製鐵所における火災事故に対して発言がありました。続いて、改造内閣の「地方創生」に期待と意欲を示し、MRJ、県のモノづくり産業強靱化スーパー特区、11月開催のESD、技能五輪・アビリンピックや海外渡航の成果、また、広島市等の土砂災害に触れ今年度当初予算では土砂災害警戒区域等基礎調査費として前年度約1.8倍の予算措置がされているなど報告がありました。

タイ工業省と愛知県との経済連携に関する覚書調印式



さて先日、敬老の日を前に市長が野崎町の三輪さん宅に御母堂様の数え百歳のお祝いに訪れ、鈴木も市議の皆さんと一緒に祝いをさせて頂きました。平成七年の愛知県内の百歳以上の方は二二二人、今は二千二百人を超えており、およそ二十年で十倍、長寿社会を実感します。少子高齢・人口減少社会の中、未来へつづくまちづくりへ一生懸命働きます。

閉会日には、賃金条項の扱いが懸案となっていた公契約条例は提出までには至りませんでした。また、地方財政の充実・強化について、自動車諸税の抜本的見直しについて等の意見書も全会一致で採択しました。

11月末には愈々ESD(持続可能な開発のための教育)ユネスコ世界会議、技能五輪・アビリンピック全国大会が開催されます。



都道府県初の賃金条項(作業報酬下限額等)目指す

公契約条例先送り

自治労(市役所職員等が加入している労働組合)を中心に連合愛知が重要施策として取り組んできました『公契約条例』は調整に時間を要し提出には至りませんでした。民主党県議団は連合と連携し、①環境保全等社会的価値の実現、②適正な予定価格の決定等による公共サービスの質の確保、③作業報酬下限額の設定等による労働者の生活の安定を目的とする公契約条例の成立を目指しています。実効性を担保するための賃金条項は懸案事項ですが、あり方検討会議や議会での議論により条例の必要性は理解されており成立に向け理事者側の努力を期待します。



▲愛知県議会タイ王国訪問団で調印式に出席、右上は新・稲沢市民病院竣工式で市民クラブ(木全・星野・魚住・遠藤)の皆さんと。

愛知県議会議員
(稲沢市選出)

すずき 純

■愛知県議会9月定例会から

●交通安全条例を制定・緊急交通安全対策の実施

県及び県民の責務を明らかにすると共に、交通安全に関する施策の基本となる事項を定める**愛知県交通安全条例**を制定し、県及び市町村並びに県民、事業者等が一体となって協力し、交通事故の無い社会の実現を目指します。条例は全17条からなり、第16条には、交通安全に関する技術の研究開発等の項が設けられ本県の特徴も盛り込まれています。

＜緊急交通安全対策費 県民生活部 約2千万円＞

県民総ぐるみ運動の展開、テレビCMによる広報、啓発イベント、事業者と連携した啓発活動など交通安全啓発活動を実施

＜交通安全施設整備費 警察本部 約2億54百万円＞

事故が多発する交差点の標識(2,932本)・標示(319km)の更新や信号機のLED化(792本)

その他、建設部ではカラー舗装などの交通安全対策費として9億円を計上

●危険ドラッグ対策

危険ドラッグが原因と思われる事案が急増しているため、緊急対策会議を開催し対策を協議、稲沢夏まつり会場(稲沢LCで木全市議と、また魚住・星野・遠藤・加藤(孝)市議にもお手伝い頂き参加)等で根絶キャンペーンを展開するとともに、危険ドラッグを販売する者等への立入検査権限を警察職員に付与する等監視及び指導の強化のために**薬物の濫用の防止に関する条例の一部を改正**します。

●愛知県いじめ問題対策委員会及び愛知県いじめ問題調査委員会条例の制定

いじめ対策推進法に基づき県立学校でのいじめ防止等の対策を実効的に行うため愛知県いじめ問題対策委員会(教育委員会付属機関)及び再調査(私立にも対応)のために愛知県いじめ問題調査委員会(知事付属機関)を設置します。

■建設委員会一宮建設事務所県内調査等



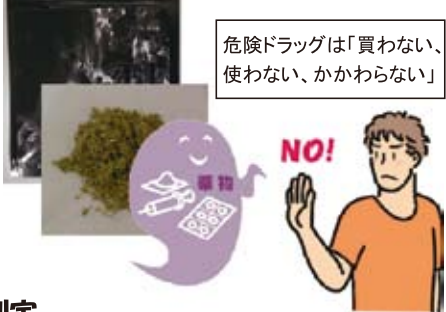
●調査会場 (FDS : 一宮ファッションデザインセンター)



●一宮建設事務所で担当課長と打合せ



●副議長就任の星野市議と豊田合成労組研修会で意見交換



24 時間テレビとコラボした稲沢夏まつり会場にて連合愛知尾張南地協の鈴木委員長、西地協の佐々木委員長と

■産業労働委員会県内調査



MRJ(三菱リージョナルジェット)はオプション契約も含め 407 機の受注。現在、三菱重工小牧南工場で試験機の製造が進められており 10 月 18 日に飛行試験初号機がロールアウト、来春には初飛行の予定。今回の 9 月補正(一般会計)にMRJ見学者等の受入体制の在り方検討で 500 万円の予算計上。

■産業労働委員会一般質問…愛知県議会タイ王国訪問団から

愛知県議会タイ王国訪問団(岩村団長以下7名)として平成26年9月8日から11日(早朝帰国)、タイ・バンコクを訪問。知事、議長と共に**愛知県とタイ工業省との経済連携に関する覚書調印式**への出席をはじめ、**タイ進出企業との意見交換会**、**チュラロンコン大学**では日本語講座専攻や石油・石油科学研究科及び名古屋大学バンコク事務所の取組などについて意見交換。チュラロンコン大学はタイで最も古い歴史を持つ名門大学で、ラーマ6世により設立され、ラーマ5世大王の名前が冠されています(この大王により贈られた仏舎利を納骨するために1904年に**覚王山日泰(タイ)寺**が建立)。また、在**タイ日本国大使表敬訪問**、県の農林水産物・加工食品の販売促進「**愛知フェアinタイ・バンコク**」の視察、県主催の**経済交流会**に参加。名古屋商工会議所岡谷会頭、中部経済連合会三田会長、中部国際空港川上社長など経済界や関係機関の方々と共に友好を深めました。タイは人口6,550万人、面積は日本の1.4倍。バンコクは人口1,200万人、面積は本県の3割、通貨はバーツで1バーツ3.6円程度です。



●ホテルの窓からの眺望



●沿道には屋台も多い



●何処に行くのも大渋滞で移動は大変

9月5日に第2回目となる産業労働委員会の県内調査が行われ、三菱重工業(株)の名古屋航空宇宙システム製作所小牧南工場と博物館明治村を視察しました。格納庫ではU字ラインでMRJの試験機が組立てられていました。100席程のジェット旅客機のマーケットは20年で5,000機と予測され、MRJは2～3割の受注を目指しています。自動車部品の10万点に対し航空機の部品は100万点と言われ裾野の広い次世代産業として期待されています。本県はアジアNO1航空宇宙産業クラスター形成特区を推進するため、MRJの量産に向け名古屋空港隣接地に工場用地を確保するなど支援体制をとっています。



全国都道府県議員野球大会 in 熊本に参加(勿論自費です)



●東南アジアの発展の中心タイ・バンコク



●チュラロンコン大学にて



●大学構内の名古屋大学バンコク事務所



●愛知フェア in タイ・バンコク



●愛知県とタイ王国との経済交流会

タイ王国との経済交流会の日本酒の試飲に祖父江の内藤酒造さんも出展

